

(別紙)

2022年度県東地区スポ少大会新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン (Ver. 9)

20230109

【基本的な考え方】

- ◎大会を主管する県東地区協議会は、最大限の感染防止策を講じる。
- ◎大会に参加するすべての人が感染防止策を理解し、円滑な運営及び防止策の徹底に協力する。特に、感染者が参加した場合は、感染防止策を徹底しても感染を防ぐのは極めて困難であることから、「ウイルスを持ち込まない」ことの重要性を関係者すべての共通認識とする。
- ◎このガイドラインを大会運営上の最低限の基準とし、各会場でこれ以外の基準が設定されている場合はその基準が優先される。
- ◎「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第4版(2021年9月9日作成)」及び「U12部会新型コロナウイルス対策ガイドライン 第5版(2022年09月01日作成)」を基準とする

【主な変更点】

- (様式1) 宣誓書兼大会参加承諾書は参加初日のみ提出し、ブロック責任者(地区役員)のチェックを受けた後当日返却する。(各チーム責任者が1ヶ月保管し廃棄処分する)
- (様式2) 施設利用者名簿は提出の必要はないが、作成の上各チーム責任者が会場にて所持する。1ヶ月間保管し、廃棄処分する。
- ベンチ消毒用消毒液、ペーパーシート等は各チームで持参する。(TO席で行ってきた出場時の手指消毒は各チームで行うこととする。)

【参加資格】

1. 陽性者／濃厚接触者／体調不良者に該当しないこと。

(1) 個人、チームの参加判断基準

個人、チームの詳細な判断基準については「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第4版(2021年9月9日作成)」P14～20 5.「陽性者／濃厚接触者／体調不良者が判明した場合の対応」に従ってください。

(2) 体調不良があった場合の判断

【本人の参加】 ア 発症から48時間は自宅待機。

イ 症状消失72時間後から段階的参加

【チームの参加】 ア 発症前48時間以内にチーム活動(対象者が参加した)があった場合は最低2日間活動休止

2. 自治体の判断を優先する

- (1) 地元自治体の指示(判断)を優先する。大会への参加禁止、自粛、スポ少活動の禁止、自粛等の指示が出た場合は参加を認めない。

3. 体育館への入場資格

体育館のフロア、及び観客席に入場できるのは以下のとおりとする。

(1) 体育館フロア及び観客席に入場可能な者

- ①登録された選手15名、及びチームスタッフ4名の計19名以内で、かつ「(様式1) コロナ対策宣誓書兼大会参加承諾書」を提出した者。
- ②大会役員・スタッフ、競技役員(審判員、TO主任、等大会運営の協力を委嘱された者)で、「(様式1) コロナ対策宣誓書兼大会参加承諾書」を提出した者。

(2) 観客席に入場可能な者

チーム関係者で、当日、観客席で応援に参加する場合は、「様式2 施設利用者名簿」に全員(様式1を提出した者を含む)の必要事項を記載して作成したチームのチーム関係者。

※様式1はチーム責任者が各会場感染対策責任者に提出し、会場責任者(役員)のチェックを受けた後当日返却を受けること。

※様式2は提出の必要はないが、チーム責任者が作成し会場にて所持すること。

なお、様式1、2とも各チーム感染対策責任者は1か月保管したうえで、適切に廃棄処分すること。

■入場に必要な提出物と対象者■

提出物	選手	ベンチ入り スタッフ	観戦者	大会役員	競技役員
(様式1) 宣誓書兼大会参加承諾書	○	○	—	○	○

■提出の必要はないが作成するもの

(様式2) 施設利用者名簿	○	○	○	—	—
---------------	---	---	---	---	---

【感染拡大防止対策の基本事項】

1. 感染対策責任者の配置

責任者の種類	責任者
大会感染対策責任者(総括)	大会委員長(理事長) 090-1112-3859(須之内)
チーム感染対策責任者	各チーム代表者 (原則として県東地区登録の「チーム育成会代表者」)
会場感染対策責任者(予選会場)	県東地区役員 (組み合わせに基づいて決定し、参加チームに周知する)
会場感染対策責任者(決勝会場)	総務委員長(会場分散の場合は、別途指名して周知する)

2. 試合運営上の感染防止対策

- (1) 主催者が示す注意事項を順守する。
- (2) 試合中ベンチのコーチ、アシスタントコーチ、保護者はマスク又はフェイスシールドを着用する(試合参加中の選手を除く)。
- (3) TO及びTO主任はマスクを着用する。
- (4) 審判はホイッスルカバーおよび審判マスクの両方を着用する。
- (5) ベンチを消毒するための消毒液及びペーパータオル等は各チームで準備する。各チームで行う消毒は下記のとおり。

- ①参加者の入場時の手指の消毒
- ②試合出場時の手指の消毒（従来、登録時にTOが行っていたもの）
- ③試合終了後のベンチの消毒（指導者等ベンチ入りしたチームスタッフでベンチの消毒を行う）。
- ④試合終了後の応援場所の消毒。
- (6) 試合中は、大きな声での応援、選手への指示は禁止する。さらに、試合前後または試合中に握手、ハイタッチ、円陣等の接触を行わない。
- (7) 観客席では、可能な限り密にならないように配慮する。
- (8) 大会終了後（14日以内）に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに大会感染対策責任者（大会委員長）に報告する。
- (9) 大会開催中は可能な限り行動記録を記入する（感染者発生の際の濃厚接触者特定に役立ちます）。

【会場別の具体的な対策】

1 予選（小学校会場を想定）の実施方法

- (1) ベンチは、設置可能なスペースがある場合は椅子をひとつづつ前後（交互）にずらし密にならないように配置する。試合を行うチームのベンチは従来どおりTO席をはさんで左右に設置し、試合が連続する場合を除き、チームの入れ替えを行う。
- (2) 試合は半日日程での開催を原則とし、試合間は30分程度（試合と試合間を含め1時間30分）をあて、施設・用具の消毒、換気を徹底する。なお、午前の部、午後の部に分けての開催は可とする。なお、午後の部の入場時間を明示し、厳守する。
- (3) 応援席は原則2階ギャラリーとし、応援はソーシャルディスタンスを厳守し、大きな声での応援は禁止。（2階に設置できない場合はこの限りではないが、例外的な措置なので厳格に判断すること。）

2 決勝（コートが複数とれて観覧席も多い体育館を想定）

- (1) 午前と午後で男女の試合を入れ替えて実施する。
- (2) 1日目(1回戦)は、入場時刻の指定と速やかな退館によるチームの入れ替えを実施する。

3 その他留意点

- (1) ゲーム前
 - ① **入場前の検温は各チームで行い、37.5℃未満を確認してから入場する。**
 - ② 各チームの待機場所については、役員の指示に従う。
 - ④ 前ゲーム終了後ベンチ入りするチームは、消毒作業に支障が出ないように準備する。
- (2) ゲーム中
 - ① 選手はコートに入るとき、及びベンチに戻るときに手指の消毒を行う。
（消毒は各チームの消毒液で各チームが行う。）
- (3) 終了後
 - ① ベンチ : 各チームスタッフが消毒作業を行う。
 - ② 応援席 : 各チームの応援者で行い、円滑な入れ替えに協力する。
- (4) その他

このガイドラインは、新たな状況の変化に対応して随時見直すこととし、変更点についてはその都度関係者に周知する。